

仕様

器具	仕様	定格電圧	周波数	消費電力	適合ランプ	保安球
	70W形	交流 100V	50Hz-60Hz 共用	62W	FHD70	ナツメ球 5W (口金:E12)

- この器具はリモコン機能付器具のため、ランプ消灯時でも約2Wの電力を消費しています。長時間お使いにならないときは、必ず壁スイッチを切り節電に心がけてください。

アフターサービス

- もしこんな現象が起きたときは・・・故障と思われる前に下表にしたがってお調べください。

現 象	原 因	対 策	参照 ページ
リモコンを操作しても点灯しない。	壁スイッチの電源が入っていない。	壁スイッチの電源を[ON]にしてください。	—
	コネクタがきちんと接続されていない。	コネクタをしっかりと接続してください。	3
	リモコンの乾電池が間違っ入っている。	乾電池を正しく入れてください。	4
	乾電池が寿命になっている。	新しい乾電池と交換してください。	4
	器具本体とリモコンのチャンネル切り替えスイッチが合っていない。	チャンネル切り替えスイッチを正しく設定してください。	5
	蛍光ランプとランプソケットの接続がきちんとされていない。	蛍光ランプの口金をランプソケットにしっかり差し込んでください。	7
	蛍光ランプ、保安球が切れている。	新しい蛍光ランプ、保安球と交換してください。	7
壁スイッチを操作しても点灯しない。	コネクタがきちんと接続されていない。	コネクタをしっかりと接続してください。	3
	蛍光ランプとランプソケットの接続がきちんとされていない。	蛍光ランプの口金をランプソケットにしっかり差し込んでください。	7
	蛍光ランプ、保安球が切れている。	新しい蛍光ランプ、保安球と交換してください。	7

このようなことにもご注意ください

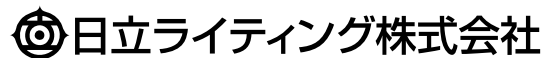
リモコンで消灯し、壁スイッチを操作しても点灯しない。	[ON]・[OFF]状態がわかる壁スイッチの場合	壁スイッチを一度[OFF]し、約1秒後に再度[ON]にしてください。
	[ON]・[OFF]状態がわからない壁スイッチの場合 (押しボタン式で押すたびに[ON]と[OFF]が切り替わり、今の状態が[ON]なのか[OFF]なのかわからないタイプ)	① 壁スイッチを約1秒間隔で2回押してください。 ② もし①の操作で点灯しないときは、①の操作後2秒以上待ってから壁スイッチを約1秒間隔で3回押してください。

- * なお、対策を行っても同じ現象が続く場合は、直ちに電源を切り、お買い上げの販売店に、器具の形式（器具銘板に表示してあります。）、現象を連絡のうえ、ご相談ください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるときにお役に立ちます。

購入店名	電話
ご購入年月日	年 月 日



〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2 電話(03)3255-5256

取扱説明書

保存用

日立蛍光灯器具

HITACHI
Inspire the Next



新防虫構造「虫ガード」採用
パールミック IC 70W形

このたびは日立蛍光灯器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

安全上のご注意

⚠ 警告	
●このような場所には取り付けない。 (この器具は天井面取り付け専用です。) * 器具の落下によるけがの原因となります。 禁止 傾斜天井 押すと簡単にたわむ補強のない天井 ケースウェイ取り付け形ローゼット、シーリングボディ 舟底天井 竿縁天井 格子天井 ●器具の改造、構成部品（ソケットなど）の交換はしない。 * 火災・感電・故障の原因となります。 ●器具のすきまに金属類（ヘアピン・針金など）を差し込まない。 * 感電・故障の原因となります。	●このような配線部品には取り付けない。 * 火災・感電・器具の落下によるけがの原因となります。 禁止 欠け破損しているもの 割れ ガタつくもの 19mm未満使用不可 角形・丸形引掛シーリングボディ 電源が露出しているもの 10mm未満使用不可 埋込形引掛シーリングローゼット 配線部品の出しろが少ないもの 電気工事店に依頼して配線部品を交換してください。
⚠ 注意	
●定格電圧 交流100V以外で使用しない。 * 過熱し、火災の原因となります。 ●浴室などの湿気の多い場所や常時温度の高い場所（35℃以上）では使用しない。 * 絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。 ●調光器（当社商品名ライトロール）と併用しない。 * 過熱し、火災の原因となります。 ●お手入れの際や、蛍光ランプ・保安球などの交換の際は、必ず電源を切る。 * 電源を切らないと感電の原因となります。	●器具の真下にストーブなどを置かない。 * 過熱し、火災の原因となります。 ●屋外で使用しない。（この器具は屋内専用です。） * 火災・感電の原因となります。 ●点灯中および消灯直後は蛍光ランプが熱くなっているので触らない。 * やけどの原因となります。 ●器具にボールなどの物をぶつけたり、衝撃を与えない。 * 器具の落下によるけがの原因となります

このようなことにもご注意ください

- 山間部や鉄筋建物など、電波の弱い地域では、ラジオや屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があります。このような場合は、ラジオや屋内アンテナを器具から離してお使いください。
- 器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、他の家電品の赤外線リモコンが動作しない場合があります。このような場合は、ラジオやテレビ、他の家電品を器具から離してお使いください。
- 周囲温度5℃以下では、点灯しにくい場合がごくまれにあります。
- 短い停電（0.5秒～2秒以内）や電圧の低下などにより、点灯状態が切り替わる場合があります。長期間、器具を使用しない場合は壁スイッチを[OFF]にすることをおすすめします。
- 商品出荷時は器具側を消灯状態としておりますので、据えつけ後点灯確認はなるべくリモコンでお確かめください。
- 室温が低い場合には、ランプの特性上、100%の明るさになるまで数分かかる場合があります。
- 天井の材質や構造によって、天井が変色する場合があります。